


胃がん検診(内視鏡)

- 胃内視鏡(胃カメラ)によるがん検診です。胃がんは50歳代以降に多く、日本人の死亡原因の上位に位置しています。ぜひ、この機会に受診してください。詳細については、申込のあった方に個別にお知らせいたします。

対象年齢 (R9.4.1時点の年齢)	51歳(S50.4.2~S51.4.1生) 55歳(S46.4.2~S47.4.1生) 59歳(S42.4.2~S43.4.1生)	53歳(S48.4.2~S49.4.1生) 57歳(S44.4.2~S45.4.1生)
対象外となる方	<ul style="list-style-type: none"> ・胃や食道の治療中(服薬中または定期的に胃内視鏡検査を実施している)の方 ・過去の胃がん検診で異常があり精密検査を受診していない方 	
検診実施時期	7月~12月	
受診会場	指定医療機関 (市内は、大湯リハビリ温泉病院、鹿角中央病院、なかの消化器内科クリニック)	
自己負担金	無料	
申込方法	①専用申込フォーム 右側の二次元コードからアクセスし、 必要事項を入力してください。	
	②電話申込 4月13日(月)から ☎0186-30-0119 平日8:30~17:15まで(水曜日は19:00まで)	
申込締切	5月29日(金)	
注意事項	令和8年度に胃内視鏡検診を受けた方は、令和9年度の胃がん検診(バリウム・内視鏡)を受けることができません。令和10年度は受診可能です。	

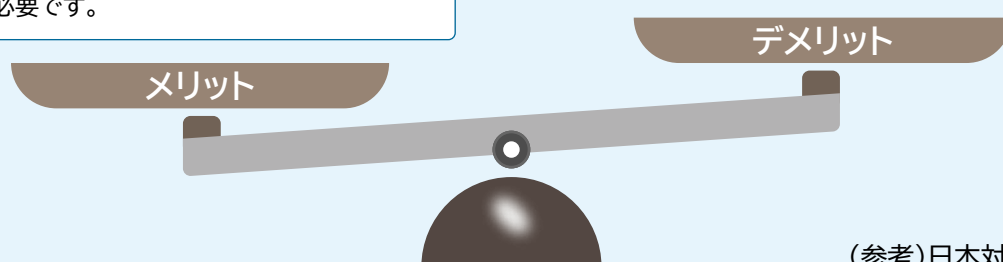
がん検診にはメリット・デメリットがあります

メリット・デメリットを正しく理解し、健康と安心のためにがん検診を受けましょう。

最大のメリットはここ！

- 早期発見・治療による救命**
早期であれば治せる可能性は非常に高く、身体的・経済的負担は一般的に少なく済みます。一方、症状がある場合はがんが進行している可能性があります。**症状がない時に検診を受けることが大切です。**
- 安心した生活を続けられる**
「異常なし」となれば、ひとまず安心して過ごすことができます。日本人の2人に1人ががんになる時代。自身を「過信」せず、**定期的に検診を受けることが必要です。**

- 検診結果が100%正しいわけではない**
「異常なし=がんではない」ではありません。がんの場所や種類によっては発見できないことがあります。
- 結果的に不必要な検査・治療となることも**
「がん疑い」と診断され、精密検査を受けた結果、「がんではない」と判定された場合、結果的にみれば不必要な検査・治療が行われたこととなります。
- 検査によって身体に負担がかかることも**
例えば、バリウムで便秘になることや放射線には被ばくの問題があります。



(参考)日本対がん協会HP